

平成16年（行ウ）第68号 公金支出差止等請求事件

原告 村越啓雄 外50名

被告 千葉県知事 外2名

## 証 拠 説 明 書（甲A号証）

2008(平成20)年11月6日

千葉地方裁判所民事第3部合議4係 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 菅 野 泰

同 廣 瀬 理 夫

同 中 丸 素 明

同 植 竹 和 弘

同 拝 師 徳 彦

同 及 川 智 志

同 島 田 亮

同 山 口 仁

同 近 藤 裕 香

番号	文書名	作成日	作成者	立証趣旨	備考
甲A 9	新聞記事	H20. 5. 2 掲載	朝日新聞社	国交省が、国交省近畿地方整備局の諮問機関から「ダム建設は不適切」との意見書がまとめられたダムについて、「もともと予定地はダム反対。何とか説得し、協力して移ってもらったのに地域感情を無視して『もういりません』とはいえない」と言及していること	写し
甲A 10	週刊ポスト記事	H12. 10. 6号	週刊ポスト編集部	平成12年1月当時、国交省から大成建設㈱へ4名、前田建設工業㈱へ3名の職員が再就職していること	写し
甲A 11	利根川の治水予算に関する資料	H19. 10. 29	国土交通省	近年、利根川の治水予算が年を追うごとに漸減しているが、八ッ場ダムに関する予算だけは年々増額されていること	写し
甲A 12	再評価委員会資料	H19. 12. 21	国土交通省関東地方整備局	国交省が、平成19年12月の八ッ場ダム計画変更に伴い開催された事業再評価委員会において、八ッ場ダムの治水に関する便益を8525億円、治水に関する費用を2917億円、八ッ場ダムの治水に関する費用対便益を2.9と算出し報告していること	写し